

ベストプレゼン賞 薬学部門(13演題※)

総演題数89 ベストプレゼン賞エントリー数76

※A-34	宇都宮 彩花	金城学院大学	非小細胞肺癌患者におけるPD-1阻害剤使用によるオピオイド鎮痛薬の鎮痛作用への影響
B-13	山口 遥己	名古屋市立大学大学院薬学研究科	S-sulfhydryl化タンパク質解析を志向したhydropersulfideラベル化蛍光プローブの開発
B-14	吉川 侑佳	名古屋市立大学	光応答性NO+ドナーの合成とそのNO+放出能の評価
B-17	崎元 耕祐	静岡県立大学 薬学部	レゾルシノール類の脱芳香環化型不斉ジフッ素化反応
B-27	石間 彩花	静岡県立大学薬学部 分子病態学分野	新規p300結合タンパク質p300 binding protein 1 (BP1) は心筋細胞肥大に必須であった
B-28	加藤 洸	名古屋市立大学 薬学部 分子生物薬学分野	プロトルーディン複合体による膜接触部位における細胞内Ca ²⁺ 調節機能の解析
B-34	中川 直也	鈴鹿医療科学大学 大学院 薬学研究科	褥瘡患者における血清亜鉛値と肉芽組織中のサイトカイン転写量の関係
B-36	天野 滉基	静岡県立大学薬学部	ウイルス感染細胞内のシアリダーゼ蛍光イメージングによるイナビル作用機構の可視化
B-37	高井 秀通	静岡県立大学薬学部分子病態学分野	新規クルクミン製剤であるcurcuRougeTMは心筋梗塞モデルラットにおいてTheracurmin®より低用量で心不全進展の抑制作用を示した
B-53	林 泉樹	静岡県立大学	ヒトパラインフルエンザウイルスの糖鎖生物学に基づく感染機構の解明
B-59	徳川 宗成	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 細胞情報学分野	苦参由来成分kurarinoneは統合的ストレス応答PERK-ATF4経路を活性化しがん細胞の増殖を抑制する
B-60	鯨井 千実	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 細胞情報学分野	強心配糖体periplocinは小胞体ストレス応答を抑制する
B-71	牧田 夏希	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野	ヒト型変異導入マウスを用いた核内受容体CARによる肝発がんプロモーションの種差解析

※A-34については、病薬部門でエントリーしていたが所属を鑑み薬学部門での表彰とした

ベストプレゼン賞 病薬部門(5演題)

総演題数75 ベストプレゼン賞エントリー数48

A-5	松村 由佳	名古屋大学医学部附属病院	好中球/リンパ球比(NLR)が日本人悪性黒色腫患者のイピリムマブ投与回数に及ぼす影響
A-24	夏目 彩佳	名古屋大学医学部附属病院	精神科におけるルビプロストン、エロビキシバット、リナクロチドの使用実態調査
A-26	二村 昭彦	藤田医科大学七栗記念病院薬剤課	鎮静時における糖加アミノ酸輸液製剤とミダゾラム注射液の配合変化の回避法
A-38	田坂 健	三重大学医学部附属病院	医薬品トレーサビリティシステム(キュービックス)を利用した高額医薬品管理の有用性
A-68	西川 嘉広	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	二次救命処置時のアミオダロン注の投与プロトコル作成および導入後アウトカム